

単元名 【第2編近代化】第2章 18
世紀までのアジアとヨーロッパ

1 年

5 組

30 番

名前 浜島希美

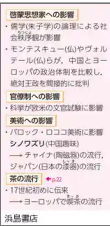
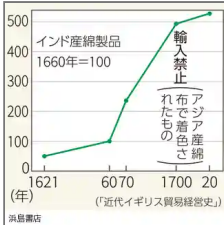
単元の問い(課題) 近代化以前に最も繁栄していたのはどの地域だろうか？

予想(仮説)

近代化以前に最も繁栄していたのはヨーロッパだと思う。
ヨーロッパは進んでいるイメージがあるし、多くの植民地を持っていたから。

資料集の資料から選ぼう

解説文やコラムの内容も参考にしよう

資料のタイトル	資料	資料からわかること
P.37 明・清代の産業		農業だけでなく、織物や陶磁器など軽工業が発展していた。主な商工業地域は海や運河の周辺に多かった。水運がその発展をもたらしたのだと思う。各地に、名前がつく商人が誕生するほど、商業が発展していたことがわかる。中国は圧倒的な人口と広い領土を背景に、広大な国内市場と活発な産業をもっていたといえる。
P.41 中国・日本からヨーロッパへの影響		儒学(朱子学)の社会秩序観は、啓蒙思想家に影響を与え、ヨーロッパの政治体制を論理的に批判する基盤となった。能力主義に基づく科挙制度も、ヨーロッパの制度に影響を与えた。喫茶の文化はアフタヌーンティーなどの形で現代にも続いている。これらの事実は、当時の中国が経済的・文化的に豊かで、ヨーロッパに対し優位であり、影響力を及ぼしたことを示す。
P.45 イギリスの綿製品輸入		17世紀後半から、綿製品の輸入が急増している。インド(ムガル帝国)から綿製品を多く輸入していることから、当時のイギリスでは綿製品が十分に国産化できていなかったことがわかる。また、これは、17世紀のインドで綿織物産業が発達していたことを示す。

単元の問い(課題)「近代化以前に最も繁栄していたのはどの地域だろうか？」

自分の考え

近代化以前の世界において、経済的・文化的な繁栄の中心はヨーロッパではなく、中国やインドといったアジアの地域であったと思う。
なぜなら、これらの地域は、広大な国内市場と高度な産業技術、そして世界に影響を与えるほどの文化的な力をもっていたからである。当時、中国は文化的な影響力と広大な経済圏をもち、インドは世界的な製造業の中心地の1つだった。それぞれの強みを生かし、世界経済や文化を引っばっていたといえる。
アジアから影響を受けたヨーロッパが繁栄するのは、市民革命や産業革命以降なのだろう。

予想と比較して、変化したり深まったりしたことや、もっと知りたいこと、今後調べたいこと

自分の予想と異なり、ヨーロッパよりもアジアが繁栄していたことに驚いた。
近代化以前に、アジアがヨーロッパに多くの影響を与えていたことを初めて知った。
文化的な影響力や工業生産力という観点から見ると、当時のヨーロッパはむしろアジアの後を追う立場だったのかもしれない。ヨーロッパが繁栄したのは、アジアとの交易を通じて富を得てからだったのではないだろうか。
もっと知りたいことは、繁栄していた清がその後、なぜヨーロッパによる支配を受けたのかという点。